



農林水産大臣賞 (1 件)

農林水産大臣賞

「事業所・地方公共団体等」分野

受賞者名

長崎県漁業協同組合連合会 (JF 長崎漁連)

大分県漁業協同組合 (JF おおいた)

所在地

長崎県長崎市、大分県大分市

受賞テーマ

漁業者による貝殻を活用した漁場環境改善に向けた取組の展開

同連合会と同組合は、カキ養殖業等の副産物として発生する貝殻を活用した漁場環境改善に向けた取組を、JF おおいたでは平成 10 年より、JF 長崎漁連では平成 13 年より展開している。

カキ養殖業が盛んな地域においては、養殖業を営む漁業者にとって、毎年発生する貝殻の処理は頭の痛い問題となっており、漁業者団体としてこの貝殻のリユースに取り組んだ。この際に着目したのが、貝殻を使用した人工魚礁 (JF シェルナース) であり、これは貝殻を直径 15cm、長さ 1m のメッシュパイプに詰めたシェルナース基質を、鋼材等を使用して組上げたものである。

シェルナース基質には貝殻の隙間にエビやカニなどの魚の餌となる小型動物が大量に繁殖し、人工魚礁部材として活用することで、海洋における生物多様性や生物生産性の向上に貢献することができる。JF 長崎漁連及び JF おおいたでは、このシェルナース基質の製作を漁業者と協力して開始し、その利用に向けた推進や普及活動にも積極的に取り組んでいる。

具体的な活動内容としては、①シェルナース基質の製作指導及び数量・品質の管理、②JF シェルナースの普及活動、③JF シェルナースの効果調査、④環境学習等への参加・展開などである。これまでに製作したシェルナース基質の本数は、JF 長崎漁連で約 175,000 本 (平成 14 年～平成 23 年)、JF おおいたで約 140,000 本 (平成 10 年～平成 23 年) に至っており、それぞれ 1,059 トン、855 トンもの貝殻がリユースされている。効果調査の実施や漁業者や水産関係者らに対する効果の PR などの推進活動を積極的に展開しており、平成 23 年度におけるシェルナース基質の生産本数は JF 長崎漁連と JF おおいたで全国の 65% を占めている。

また、全国豊かな海づくり大会や一般市民向けの物産展における展示による普及活動、小学生を対象とした基質製作体験学習なども展開しており、地域における豊かな海づくりや貝殻リユースの啓発・教育にも尽力している。これらのような取り組みが評価され、シェルナース基質は、平成 20 年度に大分県リサイクル製品、平成 22 年度に長崎県リサイクル製品としての認定を受けている。



▲集積された貝殻



▲完成した基質の数量・品質確認



▲陸上に引き揚げたの公開調査



▲調査後の報告会